

真宗大谷派 慈雲山 瑞蓮寺

慈雲会

〒604-8214

京都市中京区新町通蛸薬師下る

百足屋町 3 7 5 番地

TEL (075)221-4616

zuirenji@hotmail.com

http://www.zuirenji.net/

Shinshū Ōtani-ha

Jiunzan Zuirenji

Jiunkai

慈雲



欲生彼國者
當修三福
一者孝養父母
奉事師長
慈心不殺
修十善業

かの国に生まれんと欲（おも）わん者は、当（まさ）に三福（さんぷく）を修すべし。一つには父母（ぶも）に孝養（きょうよう）し、師長に奉事（ぶじ）し、慈心（じしん）（きょうよう）せず、十善業（じゅうぜんごう）を修す。

【『觀經』の言葉】

お釈迦さまは韋提希（いだいけ）夫人に向かつて「お浄土に生まれたら、いと、思う者ならば、まさに三つの福を修めなさい」と話しかけられます。三つの福つまり善行は、世福（世間的な福）、戒福（戒律を守る福）、行福（大乘仏教に触れる福）の三種です。そのうち今回は世福が述べられていますが、それに四種類あるのです。まず父母に親孝行する。二つめは先生や年長者には仕える。三つめは慈悲の心を持って生き物を殺さない。最後に十の善行を修める、というものです。これらのことは、すぐさま宗教心の問題ではなくどちらかというと道徳心ですが、阿彌陀如来はどこまでも観念的ではなく、現実的に私たちが凡夫を救ってくださるので、私たちの最も身近なことにまず目を向けよと仰るのです。

○春の彼岸会法要のご案内

来る三月二十一日（祝）は彼岸の中日に当たり、例年はお寺で法要を勤めますが、今回はまん延防止等重点措置の期間内であり、感染者数も増減を繰り返しておりますので、ユーチューブによるライブ配信といたします。

配信日時

三月二十一日午後二時より

法要引き続き法話

※こちらのQRコードを携帯のカメラで読み込んで動画をご覧ください。



ユーチューブライブ配信用QRコード

<https://youtu.be/kFC5ZyakUfEw>

※当日は総代世話方のみ参拝並びに配信作業をいたします。

※彼岸入りの三月十八日（金）から彼岸結願の二十四日（木）までは本堂並びに納骨室を開放いたします。

時間は午前十時から午後四時までといたしますが、出勤前や退社後に参りたい方はご一報くだされば対応いたします。

○おみがきのご案内

今年には次の日程でお磨きをいたします。皆さまご協力をお願い致します。

三月十七日（木）朝九時

五月二十日（金）朝九時

八月一日（月）朝八時半

九月十六日（金）朝九時

十一月十一日（金）朝九時

十二月十八日（日）朝九時

以上です。

○会費納入のお願い

慈雲会は瑞蓮寺のご門徒方によるご門徒方のための会です。会費は一年間で五千円です。春秋の彼岸会や報恩講などの行事の運営費、配信設備。新聞『慈雲』の発行やカレンダー送付。その他掛け軸等お寺の宝物の修復または維持費などに使わせていただいています。また皆様からのご意見もお聞かせください。

○「日曜礼拝」のご案内

別紙のとおり四月より日曜礼拝（らしい）をスタートいたします。キリスト教の教会では礼拝（らしい）といい、家族で出かけたりします。瑞蓮寺の日曜礼拝も末永く続けていきたいと思っております。お待ちしております。

編集後記

○ロシアによるウクライナへの軍事侵攻のニュースが毎日流れています。誰もが携帯電話を持つこの時代にこのような痛ましい映像を見るとは思いもありませんでした。しかしこれは現実起こっています。昨日まで当たり前のように暮らし、会いたい人とも会い（今はコロナで思うように会えませんが）、衣食住に困ることなく生活していたのに、あつという間に住んでいたアパートががれきのようになり、スパーには物が無くなり、地下壕や暗い部屋で息をひそめなければならなくなるなんて。日本は大丈夫だろうと思う気持ちが心のどこかにありますが、ウクライナの人たちもやはりそのような思っていたであろうと考えると、今のあの映像の数々は明日の日本の姿だといって決して大げさではないでしょう。

仏教はまず心の平和を説きます。しかしそれはよそで戦争が起こっていても自分だけ心穏やかに暮らせばよいという意味ではありません。今、戦禍に会い悲しみ嘆き痛む人がいれば他人ごとではなくまずその人の心に寄り添うことだと思います。

住職